

2023年12月25日
日本船主協会 企画部広報室

北九州市制60周年記念「北九州ゆめみらいワーク2023」
～クイズを通して海事産業を学ぶ～

当協会では、「“開運”じゃなくて、“海運”です。」とのキャッチコピーのもと、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご提供いただけるよう、船舶・海事施設の見学会や海事PRブースの出展等の広報活動を全国各地で開催しています。また、海事教育が学校授業でより多く取り上げられるよう、学校／教育関係者向けの広報活動も実施しております。



12月7・8日(木・金)に福岡県北九州市にて、同地域で学び育った中高生が早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベントとして「北九州ゆめみらいワーク2023」が開催され、2日間で9,000名を超える地元の中・高校生

や先生などが来場しました。当協会はこの機会を捉え、鶴丸海運および九州海事広報協会等と協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事PRブースを出展しましたので、その模様をお知らせします。

海事PRブースでは、鶴丸海運のマスコットキャラクター「ツルオくん」がお出迎えし、立ち寄った約700名の生徒からも人気を得ていました。ブースの来場者には、関連資料を配布したほか、海運にまつわるクイズを出題し、参加いただいた方には当協会のノベルティをプレゼントしました。また、先生に対しては、授業に利用できる資料を紹介するとともに、出前授業の協力等について説明しました。





クイズに参加した生徒らからは、「貿易量の 99% 以上が船で運ばれていることに驚いた」「船での仕事や生活に非常に興味を持った」「船上での様子をもっと知りたい」といった声が聞かれ、将来の進路選択にあたり海事産業も視野に入れてもらえることを期待しています。

当協会は、今後も海事関連諸団体等などと連携しながら、海事 PR ブースの出展や先生方への継続的なアプローチなどを通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるよう努めてまいります。

以上